

モデルコース

Aコース

兼城公民館出発 ⑧ 按司墓 → ⑤ 松川ガー →

① 真南風之御嶽 → ④ 内嶺グスク……

Bコース

兼城公民館出発 ⑪ 力石 → ① 真南風之御嶽 →

② 東のシーサー → ③ 西のシーサー → ⑥ イチニガー →

⑦ ミーウカー → ⑨ ハル石……

Cコース

兼城公民館出発 ⑪ 力石 → ⑮ サーターヤー跡 →

⑫ 南風原駅跡……

主要施設

- 南風原町役場 098-889-4415
- 南風原郵便局 098-889-0720
- 南風原小学校 098-889-2088
- 南風原中学校 098-889-2095
- 南風原幼稚園 098-889-4101
- 兼城交番 098-889-3892
- 文化センター 098-889-7399
- 兼城公民館 098-889-6200
- 救急 119

兼城データ

●人口

	兼城区	南風原町全体
男	2,877人	19,036人
女	2,996人	19,664人
合計	5,873人	38,700人

●世帯 2,238 世帯

●面積 91ヘクタール

(平成30年11月現在)

⑪ 力石



むかし、青年たちは畑仕事を終えた後、チチシヌメーという広場で125斤(75kg)、95斤(57kg)、50斤(30kg)の3つの石で、力比べをして遊びました。

⑫ 南風原駅跡



軽便鉄道与那原線の南風原駅で、無人駅でした。当時、駅には引込線が設置されて、貨車に多くの荷物を積み込み、帰ってきた機関車につないで、那覇与那原に送り出しました。1945年沖縄戦で破壊されました。

発行：一般社団法人 南風原町観光協会
(南風原平和ガイドの会 作成)

住所：沖縄県島尻郡南風原町字本部 158 番地

電話：098-851-7273
FAX：098-851-7109

メール：chiiki-machidukuri@haebaru-kankou.jp
HP：https://www.haebaru-kankou.jp/

南風原町字兼城

カシチー由来のムラを歩く

兼城

兼城クエーナ

聞え兼城とよむ兼城

兼城按司の御好みのあとで

(中略)

拾尋の御殿ゑん立て八尋の御殿

ゑんだち 里之子御祝の御酒

あまん人あつまて 国の人あつめて

呑でん減ならん 酌でも減らぬ

(兼城クエーナより一部抜粋)



一般社団法人 南風原町観光協会

10 琉球かすり工房



たてがすり よこがすり たてよこがすり てしま
かすりには経緋、緯緋そして経緯緋や手縞などがあります。製品になるまでに 18 の行程を経て、琉球緋独特の模様が作り出されています。日本の緋の源流とも言われています。

慰霊祭



兼城の住民は、二度と悲惨な戦争を起こさないよう決意するとともに、世界の恒久平和を祈念して、毎年宇慰霊祭を執り行っている。

門中

ウフヤムンチュウ ニイガン
むかし、大屋門中（根神）、下原門中（ヌドゥンチ）、喜納門中は兼城ムラの始祖と言われてきました。現在は枝分かれして 10 余の門中があります。

伝統芸能



カシチー由来記



揚作田

舞方棒



村遊びなどの祭祀の浄めの演舞で、力強い棒の舞によって災厄を祓う意味があります。町指定の無形文化財です。

主な年中行事

- 旧 3 月 与那原親川拝み
- 新 4 月 清明祭
- 旧 6 月 カシチー綱引き
アミシの綱引き

旧 6 月の綱引きは

旧 6 月 25 日、26 日の祭祀で 25 日は豊作を祝う行事のカシチー綱で、拝みのあとムラ人全員で引く。26 日はアミシの綱引きで水祈願に由来する。ムラ人以外も参加できます。

- 旧 8 月 カシチー柴差

カシチー（赤飯の強飯）と柴差の由来

むかし、秋に入る 8 月に、兼城按司の娘が死んだと思われて、黄金森にあるお墓に葬られてました。しかし、三日後に安平田という男を通して娘の生存が兼城按司に知らされると、桑とススキで妖気をはらって家に連れ帰り、赤飯でお祝いをしました。その後、安平田と娘は結婚し、牛を殺してお祝いしました。

今でも兼城は、旧暦 8 月 10 日のカシチーの日には赤飯を炊き、桑の葉とススキを結んだサンに牛の血を付けて、自宅の門や屋敷の四隅に差し、家族の健康と家内安全を願います。

- 旧 12 月 ムーチー

旧暦 12 月 8 日に、月桃の葉にくるんだ餅を子供に与え、健康を願う行事です。

兼城の発祥

14世紀の初め、英祖王統四代目の玉城王の末子・
うぶくすくあじ 大城按司 (真武) の二男・いなふくうふぬし 稲福大主が、先住してい
みいやうふぬし た新屋大主の養子となり、兼城ムラが築られました。



1 真南風之御嶽

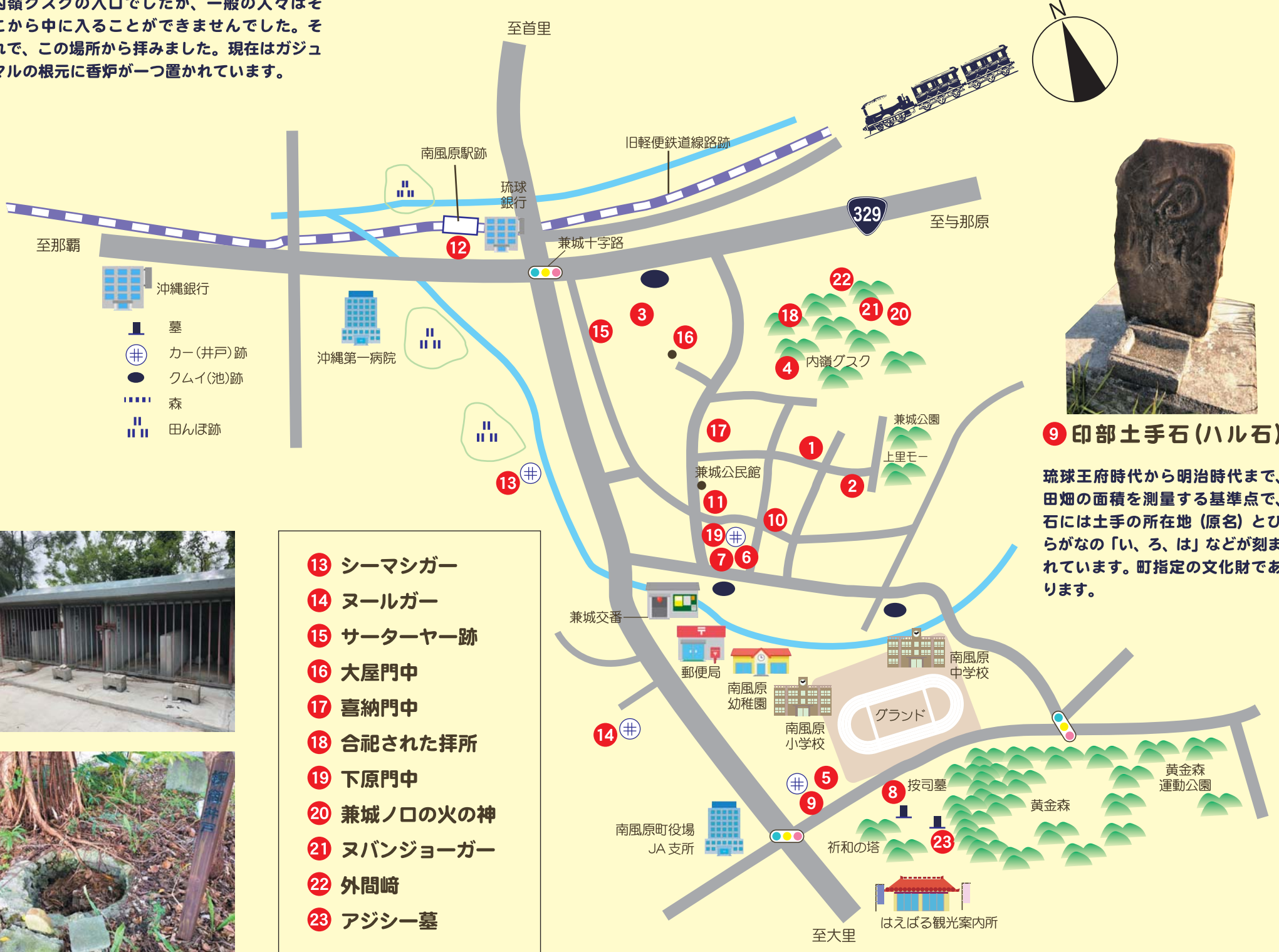
内嶺グスクの入口でしたが、一般の人々はその中に入ることができませんでした。それで、この場所から拝みました。現在はガジュマルの根元に香炉が一つ置かれています。

2 東のシーサー

シーサーは、ムラの守護神として、14世紀頃中国から伝わってきた。目的は、ヒエゲシ (火伏せ) 及びヤナカジゲシ (悪霊返し) 等であり、御嶽や城門等にみられた。

3 西のシーサー

兼城ムラの守護神であり、火災や疫病からムラ人を守ると信仰されていました。(上間ムラにむけられている)



9 印部土手石 (ハル石)

琉球王府時代から明治時代まで、田畑の面積を測量する基準点で、石には土手の所在地 (原名) とひらがなの「い、ろ、は」などが刻まれています。町指定の文化財であります。

- 13 シーマシガー
- 14 ヌールガー
- 15 サーターヤー跡
- 16 大屋門中
- 17 喜納門中
- 18 合祀された拝所
- 19 下原門中
- 20 兼城ノ口の火の神
- 21 ヌバンジョーガー
- 22 外間崎
- 23 アジシー墓



4 内嶺グスク

14世紀の後半、首里城より内嶺按司が一族を引き連れて上殿内毛に内嶺グスクを築きました。

5 松川ガー

黄金森からの湧水で、兼城ムラの重要な井戸で、とてもおいしい水でしたが、校舎建築のため埋められました。



6 イチニガー

イチニガーはウブガー (お産井戸) と呼ばれ、ウバギーメ (お産祝い用ご飯) をつくる時とナージキー (命名) の時に利用されました。

7 ミーウカー

新里ガーとも呼ばれていたが、今はイチニガーの隣に香炉があります。



8 按司墓

兼城按司のお墓で、カシチー行事・柴差の由来にまつわる墓です。黄金森の北側にあります。